

**2011年3月期 決算の概要・業績見通し  
および  
JFE商事ホールディングスとJFE商事の合併について**

**2011年4月27日**



**JFE商事 ホールディングス 株式会社**

1. 2011年3月期連結決算のポイント
2. 連結損益計算書
3. 連結貸借対照表(要約)
4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)
5. セグメント情報
6. 2012年3月期 連結業績予想及び配当予想
7. JFE商事ホールディングスとJFE商事の合併について
8. 《参考》第二次中期経営計画(09～11年度)
9. 《参考》売上高・経常利益推移(連結)

# 1. 2011年3月期 連結決算のポイント

- ◆売上高は、国内では自動車分野はエコカー補助金の終了があるものの、輸出を中心に底堅く推移し、建設機械や産業機械向けも回復傾向が続いた。  
また、輸出もアジア新興国を中心に堅調に推移したこと等により、前期比 1,996億円増収の 2兆115億円。
- ◆経常利益は、国内外のグループ会社の収益が改善した事等により前期比 93億円増益の 238億円。
- ◆当期純利益は、経常利益 93億円の増益に、災害による損失 16億円や法人税等の増減を加味した結果、前期比 61億円増益の 136億円。

## 2. 連結損益計算書

(億円)

	当 期	前 期	増減(当期-前期)	
			増減	増減率
売上高	20,115	18,119	① 1,996	11%
売上総利益	732	649	② 83	13%
(利益率)	(3.6%)	(3.6%)	(0.0%)	
販管費	498	498	0	0%
営業利益	234	151	83	55%
営業外損益	4	▲6	③ 10	
経常利益	238	145	93	64%
特別損益	▲17	-	④ ▲17	
税引前 当期純利益	221	145	76	52%
当期純利益	136	75	61	81%

### ①②売上高・売上総利益

●JFE商事(単独)	+ 2,023	+ 24
・鉄鋼	+ 1,420	+ 17
・原材料、資機材	+ 603	+ 7
●建材系分社3社	+ 50	▲ 2
●国内子会社	+ 121	+ 22
●海外子会社	+ 156	+ 33
●連結修正	▲ 381	▲ 1
●HD、分割3社(連結)	+ 27	+ 7

### ③営業外損益

持分法投資損益 他

### ④特別損失

当期：災害による損失 ▲16、  
 資産除去債務 ▲ 1  
 前期：無し

### 3. 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	当年度末	前年度末	増減
総資産	5,713	5,268	① 445
純資産	1,174	1,071	② 103
有利子負債	1,071	1,081	③ ▲ 10
有利子負債倍率 ※(DER)	0.95倍	1.06倍	▲ 0.11倍
※自己資本比率	19.7%	19.4%	0.3%

#### ※有利子負債倍率(DER)

$$= \text{有利子負債} \div (\text{純資産} - \text{少数株主持分})$$

#### ※自己資本比率

$$= (\text{純資産} - \text{少数株主持分}) \div \text{総資産}$$

#### ① 総資産

鋼材価格の上昇や取扱量の増加に伴う売上債権や棚卸資産の増加などにより、前年度末比445億円増の5,713億円

現預金 +71  
 売上債権 +235  
 棚卸資産 +119 他

#### ② 純資産

《103億円増の内訳》

- ・利益剰余金：+124（純利益+136、支払配当▲12）
- ・評価・換算差額等：▲22（株式▲1、為替▲22 他）
- ・少数株主持分：+1 他

#### ③有利子負債

前年度末比10億円の減少

## 4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(億円)

	当 期
営業活動によるCF	163
投資活動によるCF	▲ 71
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	92
財務活動によるCF	▲ 8
現金同等物の換算差額	▲ 9
現金及び現金同等物の増減	75
現金及び現金同等物 (期首)	242
現金及び現金同等物 (期末)	315

### ●営業活動によるCF

税前利益	+ 221
減価償却	+ 56
営業立替の減	+ 64
在庫の増	▲ 139
法人税等の 支払及び還付	▲ 38 他

### ●投資活動によるCF

固定資産・株式の取得等

### ●財務活動によるCF

借入金の増減	+ 8
配当金の支払	▲ 12 他

## 5. セグメント情報 ①（鉄鋼および鉄鋼周辺）

(億円)

	売上高			経常利益		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減
鉄鋼および鉄鋼周辺	19,758	17,789	1,969	228	138	90

【経常利益の増 +90億円の主な内訳】～鉄鋼および鉄鋼周辺～

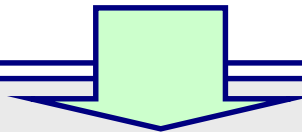
◆ JFE商事 + 7

- ・ 国内鉄鋼：数量 +772千ト、単価 +2.7千円/ト
- ・ 鉄鋼貿易：数量 ▲452千ト、単価 +US\$194/ト ≪US\$平均レート（4-3月）93.5円/US\$ ⇒86.45円/US\$≫
- ・ 原材料：金属及び石炭増収増益、コークス増益

◆ グループ会社 + 78

- ・ 国内子会社：+29（建材系分社3社 + 4、その他国内子会社 +25）
- ・ 海外子会社：+26（海外鋼材加工センター +23、石炭投資会社 +5、その他海外子会社 ▲2）
- ・ 持分法適用会社：+23

◆ 連結修正 + 5



鉄鋼分野において国内外グループ会社の収益改善及び輸出向けが堅調に推移したことに加え、原材料分野における拡販により、増収増益。

## 5. セグメント情報 ②（鉄鋼以外）



（億円）

セグメント	売上高			経常利益			主な内訳
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
食 品	250	253	▲ 3	7	6	1	韓国産第3のビールの取引拡大に加えて、サウジアラビア向けツナ缶詰やアフリカ地域向け鯖缶詰が好調に推移したことから、減収するも増益。
半 導 体	103	72	31	4	2	2	世界的な需要回復を受けて堅調に推移し、中でも事務機器用ICの販売が好調であったほか、遊戯機器用画像基板の販売も増加したことから増収増益。
不 動 産	4	5	▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 0	保有不動産の売却に取り組む。



## 6. 2012年3月期 連結業績及び配当予想①

### 【概要】

◆国内では、自動車等製造業分野において震災の影響により一部生産調整が行われるなど先の見通せない状況が続き、輸出については、アジア諸国向けを中心に堅調に推移すると思われるが、総じて鋼材需要の回復は緩やかなものに留まると想定。

当社を取り巻く環境は、震災の影響に加えて、中国及びアジア諸国における鋼材需給環境の軟化、中東地域の政情不安に起因する原油価格の上昇や鉄鉱石・原料炭などの原材料価格の上昇、金利や為替の動向など懸念要素も多く、今後の状況を十分に注視していく必要があると考える。

◆次期の連結業績見通しは、事業環境の不透明感は拭いきれないものの、既存取引の数量拡大や新規顧客への拡販活動に取り組むことにより、売上高は 2兆3,300 億円、営業利益は 275 億円、経常利益は 270 億円、当期利益は 165億円を見込む。

◆配当は、株主への継続的な利益還元について留意し、次期の業績予想を踏まえ中間、期末とともに、1株当たり 5円の年間 10円を見込む。

## 6. 2012年3月期 連結業績及び配当予想②

(億円)

	11年度予想	10年度実績	増減額	増減率
売上高	23,300	20,115	3,185	16%
営業利益	275	234	41	18%
経常利益	270	238	32	13%
当期純利益	165	136	29	21%

1株当り配当 (普通株)	① 10円	② 10円
-----------------	-------	-------

①中間・期末 各5円配当 年度計10円配当  
 ②期末で10円配当

## 7. JFE商事ホールディングスとJFE商事の合併について ①

### 1) 合併の目的

当社グループでは、現在、2009年4月からスタートした第二次中期経営計画(13ページに詳細)の最終年度を迎える。この間、鉄鋼事業を中心に収益基盤を固めるとともに、財務体質の改善、人材育成の強化、業務効率化に取組み、企業体質の強化を推進。

2012年4月には、第三次中期経営計画がスタート。この計画の中で、当社グループは新たな成長戦略を明確に打ち出し、鉄鋼商社としてトップレベルのエクセレントカンパニーを引き続き目指す。

また、このタイミングで、現状のホールディング体制の見直しを実施し、JFE商事を核とした、よりシンプルな体制による迅速かつ機動的なグループ経営を実現していく。

### 2) 合併の概略

- ①2011年10月 1日 : 当社の100%子会社であるJFE商事と川商リアルエステートが合併  
(JFE商事が存続会社)
- ②2012年 3月28日 : JFE商事ホールディングスの上場廃止。
- ③2012年 4月 1日 : JFE商事を存続会社として、JFE商事ホールディングスを吸収合併。  
同日、東京証券取引所にJFE商事はテクニカル上場予定。(※)

※JFE商事ホールディングスの普通株式1株に対して、JFE商事の普通株式1株を割当て交付。  
⇒第三者である野村證券からの分析結果等を総合的に勘案し決定

## 7. JFE商事ホールディングスとJFE商事の合併について ②

### 合併当事会社の概要 [2011年3月期]

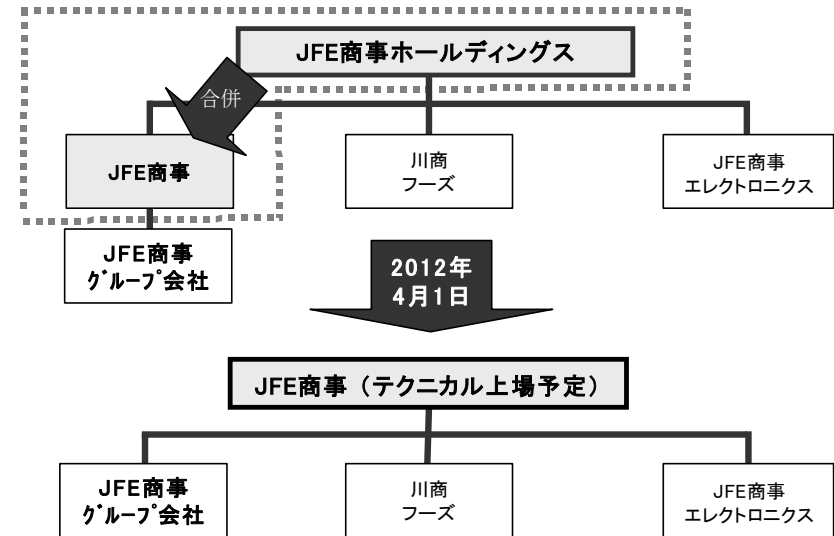
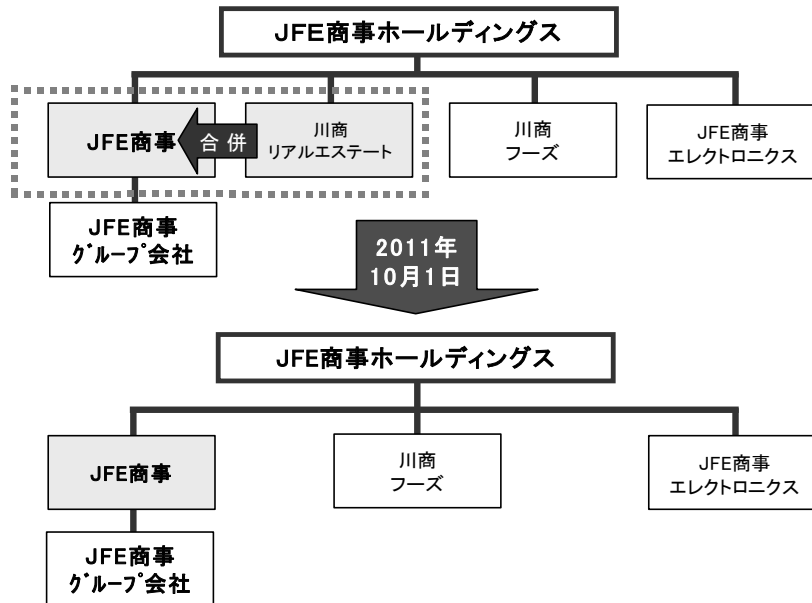
1) 商号	JFE商事(株) (合併会社[存続会社])	JFE商事ホールディングス(株) (被合併会社)	川商リアルエステート(株) (被合併会社)
2) 本店所在地	大阪市北区堂島一丁目6番20号	同左	東京都千代田区大手町二丁目7番1号
3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 福島 幹雄	同左	取締役社長 佐藤 康
4) 事業内容	各種商品の国内取引及び輸出入取引を主要業務とし、取扱品目は鉄鋼製品、鉄鋼原料、非鉄金属、化学品、機械、船舶などの分野	グループの経営戦略立案・管理並びにそれらに付帯する業務	不動産の保有、管理、売買、賃貸借並びに仲介
5) 資本金	14,539百万円	20,000百万円	100百万円
6) 設立年月日	1954年1月5日	2004年8月2日	2004年10月1日
7) 発行済株式数	236,777,704株(※)	236,777,704株	60,000株
8) 大株主及び持株比率	JFE商事ホールディングス 100%	JFEスチール 38.56% 川崎重工業 2.72% みずほ信託銀行(株)退職給付信託 川崎重工業口再信託受託者資産 管理サービス信託銀行(株) 2.32%	JFE商事ホールディングス 100%

※2011年4月1日に、JFE商事が行った株式併合後の株式数を記載

# 7. JFE商事ホールディングスとJFE商事の合併について ③

《2011年10月1日》  
JFE商事(存続会社)と川商リアルエステートの合併

《2012年4月1日》  
JFE商事(存続会社)とJFE商事ホールディングスの合併



本吸収合併は、当社共通支配下の合併であり連結業績に与える大きな影響は無し。

## 8. 《参考》第二次中期経営計画(09~11年度)

JFE商事グループ第二次中期経営計画  
(2009年4月~2012年3月)

### ■経営ビジョン

「企業としての基盤部分を含めた全ての面で  
トップレベルのエクセレントカンパニーを目指す」

### ■4つの重点経営課題

「収益基盤の更なる強化」,「人材の育成・強化」  
「グループとしての新たな企業風土の確立」,「CSR活動の強化と経営インフラの整備」

2011年度は第二次中期経営計画の最終年度

JFE商事グループの総力を挙げ、  
課題の達成に向けた施策に取り組む

### 具体的な取組み

#### ■鉄鋼分野

- ・既存の海外営業拠点・鋼材加工センターの更なる機能強化、新興国における鋼材加工センターの新設
- ・アジア地域の取引先を初めとする鉄鋼関連企業との協力関係構築、新規地域(中東・アフリカ等)への拡販

#### ■原材料・資機材分野

- ・鉄鉱石や石炭をはじめとする鉄鋼原料の新規仕入ソースの開拓、新興国との輸出入・三国間取引の拡大
- ・JFEグループ及びそのアライアンス先の各種設備機器調達への注力、取引先の海外展開や販売拡大への貢献

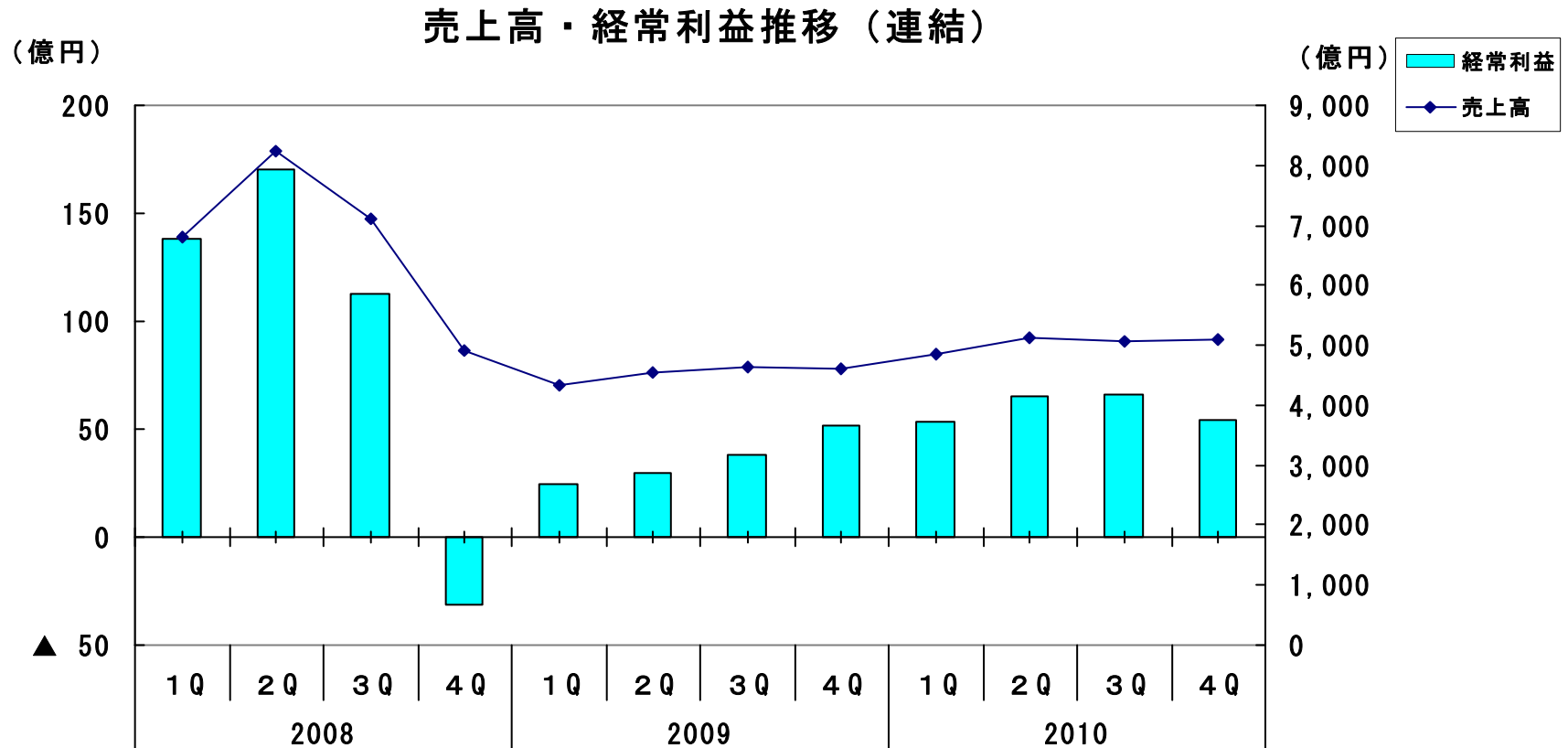
#### ■CS(お客様満足度向上)活動

- ・お客様のニーズに的確に応えられているかの各営業部門における再点検とそれを踏まえた改善策の実施

#### ■人材育成

- ・マネージャー層を中心としたグループ全社員の人材育成および強化に対する意識改革
- ・OJT教育の更なる充実や研修プログラムの拡充、計画的なローテーションの実施

# 9. 《参考》売上高・経常利益推移（連結）



（億円）

	2008年度				2009年度				2010年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	6,793	8,245	7,110	4,918	4,320	4,551	4,629	4,619	4,840	5,126	5,065	5,084
経常利益	138	170	113	▲ 31	25	30	38	52	53	65	66	54



**JFE**

\*本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。